



2025年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月14日

上場会社名 株式会社大庄 上場取引所 東
 コード番号 9979 URL <https://www.daisy.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 了壽
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理本部長 (氏名) 野間 信護 (TEL) 03-5764-2229
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期第1四半期の連結業績(2024年9月1日~2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期第1四半期	12,570	5.6	99	5.1	98	△71.4	129	△47.8
2024年8月期第1四半期	11,901	18.4	94	—	344	—	247	—

(注) 包括利益 2025年8月期第1四半期 119百万円(49.5%) 2024年8月期第1四半期 79百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年8月期第1四半期	6.17	—
2024年8月期第1四半期	11.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期第1四半期	32,273	10,353	32.1	493.39
2024年8月期	33,524	10,402	31.0	495.70

(参考) 自己資本 2025年8月期第1四半期 10,353百万円 2024年8月期 10,402百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年8月期	—	6.00	—	8.00	14.00
2025年8月期	—	—	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	6.00	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,780	3.1	685	46.9	645	△11.5	575	△32.6	27.40
通期	51,520	1.8	1,424	42.3	1,324	14.3	1,074	△19.5	51.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年8月期1Q	21,198,962株	2024年8月期	21,198,962株
② 期末自己株式数	2025年8月期1Q	213,868株	2024年8月期	213,868株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年8月期1Q	20,985,094株	2024年8月期1Q	20,985,160株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、現在の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善による個人消費の持ち直しやインバウンド需要の拡大等により経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに回復しつつあります。一方で、地政学リスクの顕在化、不安定な為替相場、物価の上昇等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、人流の改善やインバウンド消費の拡大等により需要は回復基調にあるものの、原材料価格・光熱費等の上昇や、物価高による節約志向の高まり、人手不足の影響等により、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況下において、当社グループは、「人類の健康と心の豊かさに奉仕する」という企業理念のもと、「日本の食文化と居酒屋文化の発展に貢献する」という基本方針にこだわり事業運営を行ってまいりました。また、着実な事業発展と収益力強化を図るため、強化業態への業態変更や既存店舗のリニューアル、旬の食材や鮮魚を使ったメニューの提供、SNSを活用したデジタルマーケティング、卸売・ロジスティクス事業の強化、不動産事業及びFC・VC事業等の拡充、モチベーション向上取組みや健康経営の推進、DX(デジタル・トランスフォーメーション)による生産性向上等の施策に取り組んでおります。

店舗展開におきましては、店舗改装を8店舗、店舗閉鎖を5店舗(うちVC(ボランタリーチェーン)への移行を2店舗)で行った結果、当第1四半期連結会計期間末における当社グループ店舗数は326店舗(直営238店舗、FC36店舗、VC52店舗)となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ5.6%増加の12,570百万円となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、事業内容をより適正に表示するため、従来「フランチャイズ事業」としていたセグメント名称を「FC・VC事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

飲食事業につきましては、店舗の既存店売上高が対前年比104.6%と増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ2.3%増加の5,584百万円となりました。

卸売・ロジスティクス事業につきましては、卸売含む総物流サービスによる外部売上高が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ9.3%増加の6,249百万円となりました。

不動産事業につきましては、一部自社不動産物件の売却もあり、売上高は前年同期に比べほぼ横ばいの418百万円となりました。

FC・VC事業につきましては、VC店舗の増加に伴い営業権利用料が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ2.2%増加の234百万円となりました。

その他事業につきましては、売上高は前年同期に比べ6.3%増加の84百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は99百万円(前年同期比5.1%増加)、経常利益は98百万円(前年同期比71.4%減少)、親会社株主に帰属する四半期純利益は129百万円(前年同期比47.8%減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は13,219百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,395百万円減少となりました。これは、現金及び預金が1,182百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は19,048百万円となり、前連結会計年度末に比べて145百万円増加となりました。これは、投資有価証券が532百万円増加したことに対し、建物及び構築物(純額)が247百万円、建設仮勘定が126百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は12,357百万円となり、前連結会計年度末に比べて565百万円減少となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が530百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は9,562百万円となり、前連結会計年度末に比べて636百万円減少となりました。これは、長期借入金が569百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は10,353百万円となり、前連結会計年度末に比べて48百万円減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、配当金の支払いにより利益剰余金が38百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期の通期連結業績予想につきましては、2024年10月15日に公表いたしました内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,007	7,825
売掛金及び契約資産	3,889	3,764
商品及び製品	991	958
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	106	105
未収入金	15	14
その他	638	584
貸倒引当金	△34	△33
流動資産合計	14,615	13,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,915	5,668
機械装置及び運搬具（純額）	514	526
工具、器具及び備品（純額）	279	300
土地	3,862	3,840
リース資産（純額）	208	191
建設仮勘定	161	35
有形固定資産合計	10,941	10,562
無形固定資産		
借地権	1,763	1,763
ソフトウェア	94	87
その他	126	125
無形固定資産合計	1,983	1,977
投資その他の資産		
投資有価証券	381	913
出資金	1	1
長期貸付金	5	7
差入保証金	3,417	3,386
敷金	1,533	1,527
繰延税金資産	542	575
その他	108	109
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	5,977	6,509
固定資産合計	18,903	19,048
繰延資産		
社債発行費	5	5
繰延資産合計	5	5
資産合計	33,524	32,273

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,542	2,408
短期借入金	130	130
1年内返済予定の長期借入金	7,036	6,506
1年内償還予定の社債	90	90
リース債務	101	117
未払金	1,608	1,868
未払法人税等	120	25
未払消費税等	443	374
賞与引当金	234	256
株主優待引当金	256	217
店舗閉鎖損失引当金	0	—
資産除去債務	12	—
その他	344	363
流動負債合計	12,922	12,357
固定負債		
社債	225	180
長期借入金	6,185	5,616
リース債務	216	173
退職給付に係る負債	1,638	1,620
役員退職慰労引当金	213	219
受入保証金	846	875
資産除去債務	786	787
繰延税金負債	82	84
その他	5	5
固定負債合計	10,199	9,562
負債合計	23,121	21,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	7,657	7,657
利益剰余金	2,870	2,832
自己株式	△250	△250
株主資本合計	10,377	10,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	14
その他の包括利益累計額合計	24	14
非支配株主持分	—	—
純資産合計	10,402	10,353
負債純資産合計	33,524	32,273

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
売上高	11,901	12,570
売上原価	7,333	7,770
売上総利益	4,567	4,800
販売費及び一般管理費	4,472	4,701
営業利益	94	99
営業外収益		
受取利息	5	1
受取配当金	1	0
受取保険金	35	4
貸倒引当金戻入額	0	0
受取損害賠償金	4	1
投資有価証券売却益	226	23
その他	27	10
営業外収益合計	300	42
営業外費用		
支払利息	21	28
貸倒引当金繰入額	0	0
訴訟和解金	12	—
その他	16	14
営業外費用合計	50	43
経常利益	344	98
特別利益		
固定資産売却益	0	76
特別利益合計	0	76
特別損失		
固定資産除却損	12	36
減損損失	2	6
店舗関係整理損	3	1
特別損失合計	18	45
税金等調整前四半期純利益	326	129
法人税、住民税及び事業税	23	25
法人税等調整額	55	△25
法人税等合計	78	0
四半期純利益	247	129
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	247	129

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	247	129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△167	△10
その他の包括利益合計	△167	△10
四半期包括利益	79	119
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79	119
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用) 「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準27号 2022年10月28日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	飲食事業	卸売・ロジ スティクス 事業	不動産 事業	FC・VC 事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	5,457	5,716	—	—	11,174	79	11,254	—	11,254
一定の期間にわたり 移転される財	—	—	—	229	229	—	229	—	229
顧客との契約から 生じる収益	5,457	5,716	—	229	11,403	79	11,483	—	11,483
その他の収益(注)4	—	—	417	—	417	—	417	—	417
外部顧客への売上高	5,457	5,716	417	229	11,821	79	11,901	—	11,901
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	1,507	44	0	1,552	77	1,630	△1,630	—
計	5,458	7,223	462	229	13,374	157	13,532	△1,630	11,901
セグメント利益又は損失 (△)	200	124	94	87	507	△4	502	△407	94

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△407百万円には、セグメント間の取引消去132百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△540百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において2百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	飲食事業	卸売・ロジ スティクス 事業	不動産 事業	FC・VC 事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	5,584	6,249	—	—	11,833	84	11,918	—	11,918
一定の期間にわたり 移転される財	—	—	—	234	234	—	234	—	234
顧客との契約から 生じる収益	5,584	6,249	—	234	12,067	84	12,152	—	12,152
その他の収益(注)4	—	—	418	—	418	—	418	—	418
外部顧客への売上高	5,584	6,249	418	234	12,486	84	12,570	—	12,570
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	2,010	48	0	2,061	80	2,142	△2,142	—
計	5,585	8,260	467	234	14,547	165	14,713	△2,142	12,570
セグメント利益	147	181	109	93	530	0	531	△432	99

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主な事業はミヤビパンの製造・販売であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△432百万円には、セグメント間の取引消去131百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△563百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において6百万円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「フランチャイズ事業」としていたセグメント名称を「FC・VC事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント名称で記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	256百万円	259百万円